

立川市有形民俗文化財「須崎家内蔵」落成記念式典（報告）

1. 須崎家内蔵について

平成 25 年 3 月 25 日、立川市「有形民俗文化財」に指定。

江戸時代末期から明治時代初期頃に建てられたと推定される、都内でも類例の少ない木造 3 階建ての土蔵。解体後、八番組自治会が管理をしていた。

須崎家は江戸時代、砂川村八番組組頭を務めた旧家で、かつては質屋を営み、この蔵は質蔵として使用されていた。養蚕業の発展とともに桑苗の特産地であった砂川村の盛んな商業活動がうかがえる建物としての高い評価と、蔵内に保存された約 5,000 点、古文書・民俗資料の調査と合わせ、地域史の解明につながる学術的な価値を有する文化財。

「砂川村役場文書研究会」や市史編さん担当が調査研究をしており、研究成果については、順次市民へも公開していく予定。

2. 日 時 平成 28 年 4 月 21 日（木曜日） 午前 11 時～12 時

3. 式典参加者（来賓）

市長、議長、文教委員長、教育長、八番組自治会長、同副会長、九番組自治会長、文化財保護審議会豊泉喜一会長、文化財保護審議会稲葉和也委員

4. 式典場所 古民家園母屋西側特設会場

5. 当日来場者

- ・当日来園者 128 人（うちイベント前 29 人）
- ・茶たて参加者 70 人
- ・卓上機織り参加者 12 人

*当日来場した方には、職員手作りの「ポストカード」と「繭玉工作」をプレゼント



<式典>



<テープカット>



<マスコット>